



2023年5月10日

各位

会社名 株式会社ダイヘン
 代表者名 代表取締役社長 蓑毛 正一郎
 (コード番号 6622 東証プライムおよび福証)
 問合せ先 常務執行役員企画本部長 森岡 正名
 (TEL 06-7175-1493)

報告セグメント変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年3月期第1四半期決算より、報告セグメントを変更することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 報告セグメント変更の理由

当社は、社会課題の解決に資する開発型の会社を目指し、2015年度に策定した中期計画において「エネルギーマネジメント」、「ファクトリーオートメーション」、「マテリアルプロセッシング」を新たな技術ドメインと定め、それぞれの開発に注力してまいりました。

その結果、脱炭素社会の実現に貢献するEMS製品、労働力不足解消に役立つ生産自動化システム、今後必要とされる多様な金属材料の高精度加工に資する製品群などに事業領域を拡げ一定の成果が出ており、ステークホルダーの皆様からも認知されてきました。

よって、報告セグメントを従来の「電力機器事業」、「溶接メカトロ事業」、「半導体関連機器事業」から技術ドメインに一致させることにいたします。

2. 報告セグメント変更の内容

旧セグメント	主要な製品		新セグメント	主要な製品
電力機器事業	各種変圧器	⇒	エネルギー マネジメント	各種変圧器
	受変電設備			受変電設備
	制御通信機器			制御通信機器
	充電システム機器			充電システム機器
	分散電源機器等			分散電源機器等
溶接メカトロ事業	各種溶接機	⇒	ファクトリー オートメーション	産業用ロボット
	プラズマ切断機			クリーン搬送ロボット
	産業用ロボット		各種溶接機	
半導体関連機器事業	プラズマ発生用電源	⇒	マテリアル プロセッシング	プラズマ切断機
	クリーン搬送ロボット			プラズマ発生用電源

3. 変更の時期

2024年3月期第1四半期決算より、新報告セグメントにて報告いたします。

4. 新報告セグメントごとの売上高、利益等

2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	エネルギー マネジメント	ファクトリー オート メーション	マテリアル プロセッシング	計		
売上高						
外部顧客への売上高	75,371	33,579	76,157	185,107	180	185,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	33	2	35	—	35
計	75,371	33,612	76,159	185,142	180	185,323
セグメント利益	3,664	4,322	12,372	20,359	55	20,415
セグメント資産	78,035	37,779	74,127	189,942	1,253	191,196
その他の項目						
減価償却費 (注) 2	2,295	771	1,229	4,296	23	4,319
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	1,620	1,151	1,291	4,063	5	4,068

(参考) 旧報告セグメントごとの売上高、利益等

2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ ン事業	半導体関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	75,371	50,774	58,961	185,107	180	185,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	35	—	35	—	35
計	75,371	50,810	58,961	185,142	180	185,323
セグメント利益	3,664	5,686	11,008	20,359	55	20,415
セグメント資産	78,035	63,935	47,971	189,942	1,253	191,196
その他の項目						
減価償却費 (注) 2	2,295	1,180	820	4,296	23	4,319
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 (注) 3	1,620	1,469	973	4,063	5	4,068

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2 減価償却費には、長期前払費用の償却費を含んでおります。

3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用の増加額を含んでおります。

以上